

プログラム

第1日目 9月8日(土) 会場：青森県立保健大学

キーセッション1

10:30～12:00

第1会場

ジレンマのブレイクスルー 看護師の抱えるジレンマとブレイクスルーの様相

座長：上野 栄一（福井大学学術研究院医学系部門 看護学領域）

看護師の抱えるジレンマとブレイクスルーの様相

第17回学術集会 会長：角濱 春美（青森県立保健大学 健康科学部看護学科・健康科学研究科）

キーセッション2

13:30～15:00

第1会場

現在の看護に感じるジレンマとその源泉 対談

現在の看護に感じるジレンマとその源泉：対談

対談者：川嶋 みどり（日本赤十字看護大学 名誉教授）

ジレンマが生まれる意味

対談者：西村ユミ（首都大学東京）

キーセッション3

15:30～17:00

第1会場

伝統と科学のジレンマ 看護技術は職人技か？科学か？

看護技術は職人技か？科学か？

リーダー：武田 利明¹⁾

演 者：高橋 有里¹⁾、村上 繁子²⁾、柳澤 敦子³⁾

1) 岩手県立大学 看護学部、2) 済生会岩泉病院、3) 岩手県立大東病院

術後の離床に“生活”の視点を 一歩行を促す看護から、生活行動を促す看護への転換一

リーダー：加藤木 真史(聖路加国際大学)

患者の『いつもの暮らし』を知り、支えていく看護をめざして 一高齢がん患者の療養生活に関する調査から一

演者：酒井 禎子(新潟県立看護大学)

早朝の患者のニーズをもとにした「快適起床ケア」のすすめ ～日常生活を組み込むモーニングケア～

演者：大橋 久美子(姫路独協大学 看護学部)

患者の意思決定に関わるシャーマンの役割

リーダー：藤井 博英¹⁾ サブリーダー：大山 一志¹⁾

発言者：鳴海 秀雲²⁾

1)東京情報大学、2)二代元祖津軽イタコ大師匠

学生がもつ看護の力

演者：小山 敦代(聖泉大学 学長)

相手を想うちから

演者：木村 恵美子(青森県立保健大学)

採血と輸液に関するケア

座長：佐々木 新介(岡山県立大学保健福祉学部看護学科)

- O-01 輸液実施部位の中枢側から正確な採血データを得るための実証研究**
○小池 祥太郎
青森県立保健大学 看護学科
- O-02 熟練看護師の触診技術を取り入れた採血演習プログラムの開発(第1報)
動作分析による有効性の検討**
○杉村 直孝¹⁾、矢野 理香²⁾
1)北海道大学大学院 保健科学院、2)北海道大学大学院 保健科学研究院
- O-03 熟練看護師の触診技術を取り入れた採血演習プログラムの開発(第2報)
学生の自己評価による有効性の検討**
○杉村 直孝¹⁾、矢野 理香²⁾
1)北海道大学大学院 保健科学院、2)北海道大学大学院 保健科学研究院
- O-04 末梢静脈留置針挿入に向けて、看護師が挿入可能と判断した
血管断面積・血管径・深さの検証**
○安田 佳永¹⁾、杉村 直孝¹⁾、渡部 一拓¹⁾、矢野 理香²⁾
1)北海道大学大学院 保健科学院、2)北海道大学大学院 保健科学研究

温めるケア

座長：城生 弘美(東海大学健康科学部 看護学科)

- O-05 温かくて気持ちいい看護の効果モデルの開発**
○加藤 京里
東京女子医科大学
- O-06 湿性および乾性の足浴による皮膚温及び肌水分の変化**
○渡邊 江身子、池田 万喜子
(専)京都中央看護保健大学校
- O-07 初回の看護場面における脳血管障害患者の語りを促すケアとしての手浴と足浴の比較**
○倉 侑菜¹⁾、福田 花帆²⁾、杉村 直孝³⁾、安田 佳永³⁾、矢野 理香⁴⁾
1)KKR 札幌医療センター、2)北海道大学病院、3)北海道大学大学院 保健科学院、
4)北海道大学大学院 保健科学研究院
- O-08 安静時体温別による足湯を併用したシャワー浴の温熱効果**
○秋山 雅代
天使大学 看護栄養学部 看護学科

技術の根拠の探究

座長：山本 真千子(茨城キリスト教大学 看護学部)

O-09 日本の看護における「全人的ケア」の概念分析

○荻原 典子、水戸 優子、金 壽子

国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院

O-10 氷の種類によるクライオセラピーの効果

○勝田 奈住

愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院

O-11 身体接触を用いた会話中の2者間における心拍変動の同期現象と主観的指標の変化に関する検討

○加藤 智史、前田 耕助、習田 明裕

首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 看護科学域

O-12 手を微細に振動させる看護ケアは筋硬度を低下させるのか○山下 哲平¹⁾、紙屋 克子²⁾

1) 姫路獨協大学 看護学部 看護学科、2) 京都看護大学

O-13 圧あり衣服の模擬日勤中の着用が認知機能に与える影響○吉田 祐子¹⁾²⁾、長島 俊輔¹⁾、若村 智子¹⁾

1) 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、2) 北海道大学大学院 保健科学研究院

手の動作

座長：藤井 徹也(豊橋創造大学保健医療学部看護学科)

P-01 末梢静脈留置針挿入時、熟練看護師が血管怒張手技として実践するマッサージ動作の分析○安田 佳永¹⁾、榎本 常子²⁾、杉村 直孝¹⁾、矢野 理香³⁾

1) 北海道大学大学院 保健科学院、2) 元札幌通信病院、3) 北海道大学大学院 保健科学研究院

P-02 入院・入所者の安全・安楽を支援するセンサ活用方法の検討
—握り方に関する基礎的実験—

○山下 智子

心臓血管センター金沢循環器病院

P-03 手指各部の形態と指の感覚及び力との関係○深井 喜代子¹⁾、安田 千香²⁾

1) 岡山大学大学院 保健学研究科、2) 県立広島大学 保健福祉学部 看護学科

P-04 高齢者の巧緻性に関する研究の動向

○長岡 宏子

森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科

姿勢・移動

座長：近藤 由香（群馬大学大学院保健学研究科）

P-05 排尿や排便に適した排泄姿勢に関する文献レビュー

○青木 紀子

東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科

P-06 看護技術としての移動動作に関する文献検討○若村 智子¹⁾、松本 夏織¹⁾、長島 俊輔¹⁾、水戸 優子²⁾、國澤 尚子³⁾、平田 美和⁴⁾、
小林 由実²⁾、富田川 智志⁵⁾、西田 直子⁶⁾1) 京都大学 医学部 人間健康科学科、2) 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科、
3) 医療生協さいたま地域社会と健康研究所、4) 東京医療保険大学 千葉看護学部 看護学科、
5) 京都女子大学 家政学部 生活福祉学科、6) 京都学園大学 健康医療学部 看護学科**P-07 インターネットリサーチを用いた看護師のストレッチャー移送に関する全国実態調査**○尾黒 正子¹⁾、萩野 哲也²⁾、佐々木 新介²⁾

1) 姫路大学 看護学部 看護学科、2) 岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科

**P-08 腹臥位を日常生活に取り入れた高齢者の身体柔軟性・バランス機能への効果
—6か月間の変化—**○大宮 裕子¹⁾、松岡 由美子²⁾、川嶋 みどり³⁾⁴⁾1) 西武文理大学 看護学部、2) 前・西武文理大学 看護学部、3) 日本赤十字看護大学 名誉教授、
4) 健和会臨床看護学研究所**P-09 回復期リハビリテーション病棟における脳血管疾患患者の歩行の自立に向けて
～看護師の判断の過程と観察の視点～**○川名 裕治¹⁾、水戸 優子²⁾、金 壽子²⁾1) 神戸大学大学院 保健学研究科保健学専攻 看護実践開発学分野 博士課程後期過程、
2) 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科

在宅にて『口から食べる』を支える摂食嚥下ケア

○水戸 優子¹⁾、芳村 直美²⁾、鈴木 恵³⁾

- 1) 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科、2) 特定医療法人研精会 稲城台病院、
3) 横浜創英大学 看護学部

痛みのケアの確立を目指して(その13)

一疼痛ケア技術を社会と共同して開発する(5)

○深井 喜代子¹⁾、佐知 亨²⁾、新見 明子³⁾

- 1) 岡山大学大学院 保健学研究科、2) 中津数学塾 代表、3) 川崎医療短期大学 看護科

リラクゼーション法を看護技術として実践するための看護教育の在り方

～リラクゼーション看護講座の実績から～

○柳 奈津子¹⁾、岡田 朱民²⁾、内山 美枝子³⁾、小山 敦代⁴⁾、定方 美恵子³⁾、近藤 由香¹⁾、
箕輪 千佳⁵⁾、桐山 勝枝⁵⁾、荒木 大治⁶⁾、小坂橋 喜久代⁷⁾

- 1) 群馬大学、2) 佛教大学、3) 新潟大学、4) 聖泉大学、5) 高崎健康福祉大学、6) 武庫川女子大学、7) 京都橘大学